

地域開発論 ゲスト講師講演会

吉本哲郎(地元学ネットワーク主宰)

地元学をはじめよう！ 水俣からのメッセージ



2016年11月17日(木)午後3時～4時30分
共通講義棟3号館1F 第1講義室

吉本哲郎さんは、水俣に生まれ、水俣市役所に勤める中で、水俣病の患者さんと出会います。たくさんの学者が水俣病を調べに水俣に来たのに、自分たち市民は何も知ろうとしなかったという反省が、「地元のことを地元の人たちが、自らの足と目と耳で調べる」地元学の構想へとつながっていきます。今、地元学のネットワークは、日本全国に広がり、地域から日本を変えようという草の根の動きが生まれています。

外部の資本や補助金に頼る「ないものねだり」の開発ではなく、地域に生きる人びと自身が「あるもの探し」をし、日々の生活文化を創る主体となっていこうという吉本さんのメッセージは、私たちの固定観念を根源的に揺さぶる力をもっています。

この講演は、地域開発論(熊谷担当)の授業の一環ですが、受講生以外の学生・教員の皆さんの来場も歓迎します(事前申し込みは不要)。ぜひご参加ください。

吉本哲郎さんの略歴: 1948年生まれ。宮崎大学農学部卒業。1971年から水俣市役所に勤務。企画課、環境対策課課長、水俣病資料館館長などを経て2008年に退職。水俣病による被害と地域社会の分断に苦しむ水俣市を、環境モデル都市として再生させる原動力となる。

問合せ先: 熊谷圭知 kumagai.keichi@ocha.ac.jp

お茶の水女子大学 文教育学部 グローバル文化学環(内5193)
global@cc.ocha.ac.jp